

【研究名】： テイコプラニンの血中濃度に及ぼす要因解析

【研究目的】

抗菌薬であるテイコプラニンは、安全に使用するために患者さんから採血を行い、血中濃度を確認して投与されており、効果を十分に発揮するためには速やかな血中濃度の上昇が重要です。しかし、血中濃度の上昇には、腎機能や体表面積をはじめとした様々な要因が絡んでおり、どの要因が重要であるかは体格の異なる海外の患者さんのデータがほとんどです。そこで、当院におけるテイコプラニンの実施臨床データを用いて、テイコプラニンの血中濃度上昇の要因を検証し、日本人のテイコプラニンの血中濃度上昇に関する要因を明らかにし、テイコプラニンの投与におけるより安全な投与設計を検討します。

【研究意義】

テイコプラニンによる感染症治療を行っている患者さんに対する、副作用発現の防止および薬剤適正使用への貢献が期待できます。

【調査の対象となる患者さん】

2010年1月～2014年7月の間に、テイコプラニンを含む治療をうけた患者さん

【方法】

調査の対象となる患者さんのカルテから、以下の項目を調べます。

性別、年齢、テイコプラニン投与量、栄養状態(血液検査のアルブミンの結果)、身長、体重、白血球、肝機能、腎機能、テイコプラニンの血中濃度

【研究実施期間】

2015年7月～2016年6月

【結果】

有効な投与設計を行うには、特に eGFR が 56ml/min 以上の患者には 1600mg の高負荷なローディングが必要であることが考えられました。

【患者さんの個人情報の管理について】

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて患者さんのプライバシーを守るよう努めています。結果の発表や出版に際しては個人が特定できるような情報は掲載しませんので、患者さんの個人情報が外部に漏れることはありません。

【研究実施体制】

研究機関： 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者： 教授 荒木 博陽

研究分担者：

准教授 田中 亮裕

副部長 守口 淑秀

副部長 田中 守

室長 渡邊 真一

研究支援員 中川 美菜子

~~薬剤師徳島大学病院 特任助教 武智 研志~~

~~研究支援員 中川 美菜子~~

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。

また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお願いします。

研究責任者： 准教授 田中 亮裕

電話番号： 089-960-5731

e-mail: akiki@m.ehime-u.ac.jp